

平成 25 年 3 月 31 日

登録選手 各位

関係者 各位

日本身体障害者陸上競技連盟

強化委員長

小林 順一

アンチ・ドーピング担当 東 利雄

(公印省略)

『アンチ・ドーピングに関するお知らせ』(重要)

日本アンチ・ドーピング機構(JADA)より、毒性による重篤な症状を引き起こす可能性のある禁止物質について注意喚起のメッセージが配信されました。

注意喚起文と追加連絡による詳細をお知らせしますので、熟読の上、皆様におかれましては引き続きアンチ・ドーピング活動に取り組んで頂きますよう、お願い申し上げます。

事務連絡
平成 25 年 3 月 22 日

関係各位

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
事務局長 浅川 伸

世界アンチ・ドーピング機構（WADA）より、下記の通り、重篤な症状を引き起こす可能性のある禁止物質の使用に関する緊急の注意喚起メッセージが配信されましたので、ご連絡申し上げます。
本件内容につきまして、競技者、指導者等への周知対応を頂きますようお願い申し上げます。

記

【要約】

WADA が収集した情報と分析によると、禁止物質である GW501516 が競技力向上を狙って使用されていることが各国のアンチ・ドーピング機構によって確認されています。
本物質には重篤な毒性があることがあきらかになっており、摂取による重大な健康の被害が起きる可能性があります。

【WADA 発表原文】

It has come to WADA's attention that the black market substance GW501516 is being sold to and used by some athletes.

The side effect of this chemical compound is so serious that WADA is taking the rare step of warning "cheats" to ensure that there is complete awareness of the possible health risks to athletes who succumb to the temptation of using GW501516 for performance enhancement.

GW501516 was a developmental drug that was withdrawn from research by the pharmaceutical company and terminated when serious toxicities were discovered in pre-clinical studies.

Clinical approval has not, and will not be given for this substance.

However, GW501516 has been available for some months on the black market, through the Internet and elsewhere. Anti-Doping authorities have already seen its use by athletes, as there are a number of positive cases.

【WADA web サイト】

http://playtrue.wada-ama.org/news/wada-issues-alert-on-gw501516/?utm_source=rss&utm_medium=rss&utm_campaign=wada-issues-alert-on-gw501516

以上

《3/28JADA 追加連絡》

GW501516 は、GW1516 ともいわれ、禁止表国際基準において、『S4.5 代謝調節薬の b)ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体デルタ（PPAR δ ）作働薬（GW1516 等）』と記載されている物質です。

WADA のホームページ上の情報等によれば、開発段階において発がん性があることが判明し、医薬品としての開発が中止されたとのことです。

上記背景から、承認された医薬品としては販売されておりませんので、通常のルートでの入手は困難であることが推定されます。

しかしながら、WADA の注意喚起メッセージによれば、競技者の検体から検出されているなど、ブラックマーケットでの流通が推察される状況にあることに鑑み、重篤な症状を引き起こす危険性から注意喚起がなされているものです。

通常の生活において、病院で処方される薬や薬局で購入する薬等の使用においての注意は不要と考えますが、上記の事情に鑑み、競技者及び指導者との情報の共有が必要と考え、関係各方面への情報提供対応を行いました。

以上、事情をご勘案のうえ関係者間での情報共有をお願いいたします。本件につきまして、何かございましたら日本アンチ・ドーピング機構事務局（03-5963-8030）までご連絡願います。